

農林水産省における就職氷河期世代の国家公務員中途採用の方針について

1 農林水産省における採用の全体像

農林水産省においては、国家公務員中途採用者選考試験（就職氷河期世代）を活用し、令和8年度から10年度までの3年間で1年当たり4名の採用を目指す。加えて、既存の経験者採用（農林水産省選考採用試験等による採用）の取組も着実に継続する。

2 農林水産省が求める人材像・職種

就職氷河期世代の国家公務員中途採用に当たって農林水産省が求める人材像としては、本申合せの「(就職氷河期世代試験について) 3」の(1)～(3)に掲げるような方に加え、以下のような方を想定している。

- (1) 農林水産省が所管する本省庁及び地方支分部局等の行政分野の企画立案業務及び農林水産行政の着実な遂行に係る事務の推進に取り組む意欲や能力のある方
- (2) デジタル・IT に関して知識や能力を有する方

3 農林水産省における研修等の方針

採用された就職氷河期世代の方が採用後、公務に円滑に取り組めるよう、職員の希望や能力等を踏まえつつ、農林水産省においては、以下のような研修や育成の機会を設けることとする。

(1) 初任研修【採用1年目に実施】

大臣官房秘書課等において、採用後の職務遂行に必要となる基礎的知識・能力及び農林水産行政に関する基礎知識を付与するための研修（座学＋演習）を実施する。また、職員掲示板に経験者採用者向けの執務参考資料を掲載し、基礎知識の習得を支援する。

(2) 専門研修【採用以降、必要に応じて実施】

大臣官房秘書課又は各所属部署等において、業務遂行に必要となる専門的知識・能力を付与するための研修を、必要に応じて実施する。

(3) フォローアップ体制【採用後、定期的及び必要に応じて実施】

採用後の業務の遂行状況や、職場環境を把握・確認するために、各所属部署の人事担当者による面談を定期的及び必要に応じて実施する。